

～ここには、未来に残したい、田舎がある！～



ブランド米「土佐天空の郷」を提案する



田んぼアート田植え作業の様子

経緯

- 平成15年本山町農業公社へ派遣され町の農業の厳しさに直面、農村の暮らしを守るためにもコメのブランド化を進めなければならぬと活動を始める。
- 平成19年度に本山町特産品ブランド化推進協議会を設立。

取組内容

- コメのブランド化に向け、専門家の招へいや都市での試食販売、栽培技術の向上を図りながら「求められるコメ」を追求。
- スマート農業を展開し、労力軽減やデータに基づく栽培マニュアル作成。
- 煎餅、甘酒、玄米グラノーラなどの商品開発。
- 田んぼアート・棚田コンサート・かかしアート・食材名人に出会うツアー・棚田散策コースの設定など、産地を訪れるきっかけづくり。

活動の効果

- 二度の食味日本一の獲得。ブランド米「土佐天空の郷」が定着し、活動以前の30kgで6,500円であった価格を10,250円まで高めている。
- ブランド米の規格外米を加工し商品化したことで、コメだけではなく地域ブランドとして「土佐天空の郷」が広がりを見せている。
- 消費者や販売者が産地に訪れるきっかけを創り、農家とふれあうことで心に根付くブランドへ成長している。

応募者からのアピール・メッセージ

地域で協働し本気でブランド化の取り組みを実践してきたことで棚田への関心が高まり、荒廃の速度は確実に緩やかになっています。後継者となる若手生産者が増え始める嬉しい話題も聞かれるようになってきました。魅力のある稲作農業の確立に立ち止まることなく棚田保全に繋げていきます。